

地下水中の有機フッ素化合物（通称：PFAS）の追加調査を実施しました

令和5年10月に市内地下水の水質を把握するため、有機フッ素化合物の地下水調査を実施したところ、調査を行った6地点中、高津区の1地点で暫定指針値※¹（50ng/L）を超える有機フッ素化合物が検出されました。

そのため、令和6年1月に当該井戸及びその周辺井戸で追加調査を実施しましたのでその結果をお知らせします。超過を確認した井戸はいずれも飲み水には利用されていませんが、経年的な推移を把握するため、継続的に調査を実施します。

単位：ng/L（ナノグラム※²パーリットル）

採水地点	井戸区分	PFOS (ペルフルオロ クタン sulfonic acid)	PFOA (ペルフルオロ クタン acid)	合算値	備考
高津区北見方	浅井戸	150	14	<u>160</u>	令和5年10月の調査で暫定指針値を超過した井戸
高津区北見方	浅井戸	78	13	<u>91</u>	周辺井戸
高津区諏訪	浅井戸	25	23	<u>48</u>	周辺井戸
高津区坂戸	浅井戸	2.3	5.2	<u>7</u>	周辺井戸
高津区下野毛	浅井戸	7.9	11	<u>18</u>	周辺井戸

(注記)有効数字2桁で処理しているため、合算値は「PFOS」と「PFOA」の合計と一致しない場合があります。

(参考：令和5年10月実施の調査結果)

単位：ng/L

採水地点	井戸区分	PFOS	PFOA	合算値
幸区小向町	浅井戸	10	18	28
中原区下小田中	浅井戸	4.6	8.9	13
中原区下沼部	浅井戸	9.1	8.8	17
高津区北見方	浅井戸	150	17	<u>160</u>
多摩区宿河原	浅井戸	16	7.8	23
多摩区菅稲田堤	浅井戸	6.8	2.8	9

(※1 暫定指針値)

暫定的な目標値（PFOS及びPFOAの合算値）として国が定めたもので、体重50kgの人が、1日当たり2Lの水を一生涯にわたり摂取しても健康に対する有害な影響が現れないと考えられる値として設定されています。

(※2 ナノグラム)

1ナノグラムは10億分の1グラム

本件に関する問合せ先

川崎市環境局環境対策部環境保全課 ちむろ 千室 TEL 044-200-2519